

図書館だより

発行 多可町図書館

〒679-1133

多可郡多可町中区靴屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.taka.hyogo.jp/>



ふるさとのお宝も詰まった図書館

多可町歴史街道推進協議会

会長 宮崎和明

先日、私どものグループで、オリジナルの紙芝居を製作しました。いろいろな方々のご尽力、ご協力を得て完成させることができたのですが、とりわけ「図書館まつり」という晴れ舞台で、これら三作品のお披露目の機会を与えていただいたのは何よりもありがたいことでした。と同時に、今までの私たちの取り組みに「図書館」という重要な拠点があり意識されていなかったことに対して反省させられる機会となりました。

さて、このたびの作品『鹿の恩がえし』『東山古墳のはなし』『りょんりょん』はいずれも多可町の豊かな文化や伝統、いわゆる歴史遺産ともいえるべき内容を盛り込んだ紙芝居です。子どもたちに対して、ふるさと多可町に誇りを持ってほしいと願い、作ったものですが、これらを語り聞かせていただく先生方や大人の方にも案外新鮮な驚きをもって迎えられる「お宝」になっているのではないかと自負しています。

このうえは、ぜひとも「宝の持ち腐れ」にならないように、積極的な活用を願うばかりです。さらに「宝」の取り上げついでに言いますと、「たから」は「田から」語源説というのがあります。

確かに「りょんりょん」や「古墳」などにも、その背景に農業経済の進展があるのを見て取ることが出来ます。豊かな文化はそれを土台にして花開くという理解も可能というものです。

豊かな心は豊かな文化を伝えるところからはじまります。ふるさとのお宝もいっぱい詰まった図書館活動を手助けできるよう、これからも連携した取り組みを進めていきたいと思えます。

『GOSICKーゴシックー』

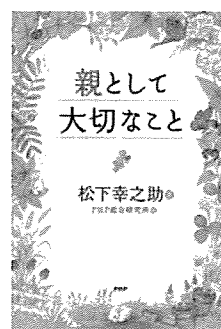
桜庭一樹／著 角川文庫 (Fサク)

第1次世界大戦直後、極東の島国からヨーロッパの王国ソヴェールの貴族の子弟のための寄宿学校聖マルグリット学園に留学した九城一弥は、ふとしたことから奇妙な少女ヴィクトリカと出会う。彼女は学園の図書館塔に住み一弥の説明を聞くだけで謎を次々に解決していく。ある日2人は謎の人物から招待され豪華客船に乗り込むが殺人事件に巻き込まれて…(す)



『親として大切なこと』

松下幸之助／著 PHP 総合研究所 (379マ)



3人の町工場からパナソニック・グループを創業した松下幸之助、企業家として多くの優秀な人びとを育て“人育ての名人”と称されることもありました。子育てや教育など、親に知っておいて欲しい大切なことを、松下幸之助の残した数々の著作物の中から厳選し、大きな文字で分かりやすくまとめた本です。子どもは磨けば、みんな光り輝く！子をもつ方、これから親になれる方だけでなく、教育関係者、上司にあたる方々にもおすすめの1冊です。(し)

こんな本も
おすすめです

Bookガイド

多可町在住のお二人に関する本を取り上げてみました。



☆☆ 日向理恵子さん

『旧校舎の黄金書 おすすめ図書くらぶ1』
岩崎書店 (K913ヒ)

図書委員だった晶子は、担任の若林先生の発案によって、ある日突然図書くらぶに入部させられてしまいます。ところがこの図書くらぶ、どうやら普通のクラブではないようで…。旧校舎の図書室を舞台に繰り広げられる待望の新シリーズです。(イラストも日向さんが描かれています。)



ふくちゃんのウインク

第7回図書館まつりも、みなさんのおかげで大盛況のうちに終えることができました。開館時間前には約100名の方が並んでくださっていました。毎年楽しみにいただいているこのイベント。「来年はこんなことをして欲しい!!」なんていう希望やお気づきのことがありましたらお気軽に職員までお声かけください。(よ)

『地下の洞穴の冒険』

R. チャーチ／著 岩波書店 (K933チ)

夏休み、ひとりでおじさんの家に来ていたジョンは、ある日町はずれのワラビの野原で洞穴を見つけます。早速、少年5人で探検の計画を練り、実行します。冒険に沸き立つみんなの前に広がった洞穴は底知れず、あっという間の出来事で2組に別れてしまいます。「出られないかも知れない」そんな恐怖の中、少年たちは知恵と勇気をふりしぼり、前進していきます。泥だらけ、くたくたで、もう一度眺めた太陽の清々しさは格別、満足できる冒険譚です。(と)



☆☆ 今中信一さん

☆ イラストレーターの今中さんが
『純平、考え直せ』集英社
奥田英朗／著 (Fオク)
の表紙イラストを描かれています。



ちょっと一息

図書館まつりで出した“なぞかけ”を職員もとのえてみました。

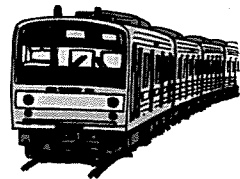
「『図書館』とかけて“ふるさと紙芝居”ととく、その心は」 どちらもリーダー(読者・指導者)が必要です。いかがでしょう?(お) ※ご応募いただいた中からうまくととのっていると思われる3作品には粗品をお渡ししました。



ふくちゃんのウインクお・ま・け

図書館のことをいろいろと知っていただこうとHP上でよもやま話的なコーナー“ふくちゃんのウインク”を始めました。ここではカウンターや閲覧室からは見えにくい図書館の舞台裏の業務などをご紹介しますと思っています。

こと 葉
 ぶくちゃんの言の 便り
 ラブ有り! コメ有り! アクション有り!
 ライトノベルな新進作家
 ひろ
 ～ 有川浩 編 ～



身の回りの些細なものでも視点を変えればエンタ
 テイメントになりうるものが、世の中にはあふれ
 ていると思います。

— 2010年 「新刊ニュース」インタビューより —

有川浩さんは、不思議な作家です。平成15年に第10回電撃
 小説大賞に輝いた『塩の街』と、『空の中』『海の底』の3作品
 は、“陸・海・空自衛隊3部作”と呼ばれています。本のタイト
 ルからは男性作家?と思わせてくれますが、関西在住アラフォ
 ー世代の女流作家です。有川さんが、ライトノベルな作家さん
 であると感じられる一節が著書『レインツリーの国』のあとが
 きに書かれていますので紹介します。

それでは皆さんがこの本を少しでも楽しんで頂けますように(純粋な
 祈り)『図書館内乱』にも少し興味を持ってくださいますように(やや
 下心付き怨念含み)

ライトノベルだなと思うのは、() 付きの文章だけではありま
 せん。実は、この一節と同じ文章が著書『図書館内乱』のあと
 がきにあり、『図書館内乱』の部分を『レインツリーの国』に置き換
 えて書かれているのです。どうして著書はそれぞれのあとがき
 に同じ文章を書いたのでしょうか?こんな謎を解きに、多可町
 図書館にお越しください。

有川浩さんに関するクイズです。《こたえは最後のページに》

- I. 『レインツリーの国』の中で登場人物がやり取りするのは
 ①電話 ②手紙 ③メール ④ブログ
- II. 今春、公開される映画の原作は
 ①近鉄電車 ②南海電車 ③阪急電車 ④京阪電車
- III. 写真や料理のレシピが載っている小説のタイトルは
 ①果物図鑑 ②魚類図鑑 ③植物図鑑 ④昆虫図鑑
- IV. フジテレビでアニメ放映された小説のタイトルは
 ①クジラの彼 ②三匹のおっさん
 ③図書館戦争 ④フリーター、家を買う。
- V. 『図書館戦争』の中に「図書館の自由に関する宣言」が出て
 きます。その第3章には“図書館は利用者の〇〇を守る”
 とあります。〇〇に当てはまる言葉とは。
 ①自由 ②利益 ③秘密 ④尊厳

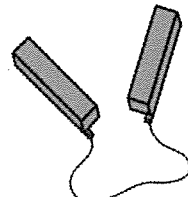
ストーリーディング中級講座終了

10月から始まったこの講座も2月23日に全5回
 を修了しました。中級講座は初めての試みだった
 のですが、たくさんの方に受講していただきました。
 アンケートでは多くのおはなしを聞いたこと、
 先生の講評がとても丁寧で分かりやすかったこ
 と、そして何より、講座生同士の意見交換が今後
 の活動に活かしていく上でとても有意義な会であ
 ったとの感想を聞かせていただきました。

3/6 多可町ふるさと紙芝居
 完成記念フォーラムを開催



今回製作された紙芝居は町内の
 小学校等21カ所に配付されま
 した。図書館では貸出可能です。



多可町歴史街道推進
 協議会により製作され
 た、3区の歴史や文化
 を紹介する紙芝居がお
 披露目されました。続
 いて、この紙芝居の活かし方など、製作者と受け
 手の立場から意見交換がされました。地域と人、
 紙芝居を次代へ繋いでいくことの大切さが串団
 子を例えに語られ、会場も交えての活発な会とな
 りました。



3/5、6 今年も大盛況でした。
 本のリサイクル広場



リサイクル広場
 に並べられた本は
 図書: 1,201冊
 雑誌: 792冊
 計 1,993冊

たくさんの方にお
 持ち帰りいただき
 ました。

来館ありがとう

1月12日にはみどり保
 育所の4歳児が、2月3日
 には中町南小学校2年生
 のみなさんが図書館を訪
 問してくれました。秋にも
 多くの小学校・幼稚園・保育所の子供たちが来館し
 ました。楽しそうに本を選んでる姿や本を持った
 笑顔を見ると、いつも職員一同パワーがあふれてき
 ます。今後も多くの方のご来館をお待ちしています。



後日、中町南小学校
 2年生のみなさんか
 らお手紙を冊子にし
 ていただきました。

トピックス

かるた会: 1月8日

年齢別に2つのグループに
 別れて、かるたをとりあいま
 した。部屋のあちこちから「は
 いっ!」という元気のよい声
 が響きわたっていました。



～本と人、出会いがいっぱい～
 図書館まつり

3月5日、6日に開催しました
 ご来館ありがとう
 ございました

3/5、6 布絵本の作品展示



先着50名に
 配られた指人形

布絵本サークルのみなさんに製作していただ
 いた絵本やおもちゃを展示しました。子ども達は
 実際に手にとり、楽しそうに遊んでいました。



3/5 「たか坊」もみんなをお出迎え



3/5 播州織で布の花づくり

講師に、安平弘美さん(中区
 岸上)をお迎えして開催しまし
 した。1つ出来上がると「面白い」
 ということで、早く出来上がった人は、2つ目にチャレンジ。
 「このセットはどこで売
 っているのですか?」
 との声もありました。

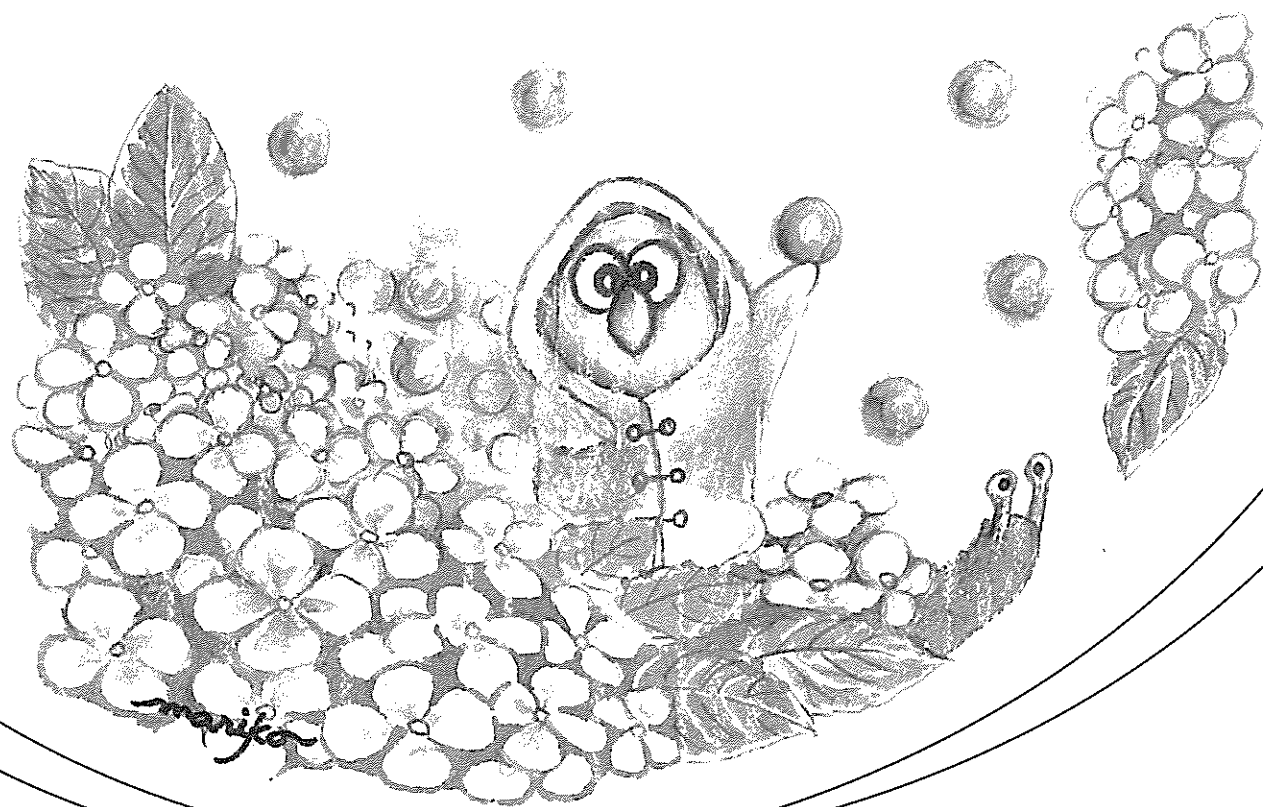
3/5 絵本カバーでつくる
 ペーパーバッグ



- ・大人のための
おはなし会
- ・おはなし会
- ・フィルムカバー講習会
- ・特産品コーナー
- ・なぞかけ問答
“図書館”とかけて
〇〇ととく、その心は
なども開催しました。

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区糺屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
<http://www.library.taka.hyogo.jp/>



古本屋ではなく、古書店にて

サポー田・ねっと
たかはしきんや

大阪梅田の阪急電鉄高架下にある『かつぱ横丁』をご存知でしょうか。大型書店紀伊國屋から、北西に三分程歩きます。すると、カッパル河童の愛らしい看板が迎えてくれます。横丁の奥は飲食街ですが、手前は『阪急古書のまち』として十五の古書店が、通りの左右に並んでいるのです。そこで商いをされているのは、新刊ではなくあくまでも他の人が一度は手にした書物なのですが、さすがに阪急の名に恥じることなく集まった格調高き古書店の面々です。一冊一冊の本を、古本ではなく古書として扱い、店舗内の書棚に整然と収めて、新たな主人を待ちます。

シヨウウィンドウには、其々の古書店が扱う書籍が顔見世に飾られています。例えば、江戸の版画や絵巻物、近世の歴史書や古美術書、明治・大正・昭和の文豪たちの書物などと一般の書店では、滅多に拝めない書籍が並びます。

ひとたび店舗の中に入れば、店の主人は客の存在を気付かぬように黙って座っています。こちらとしても、店主の目を気にせずに本棚の中を彷徨うことが出来るのです。

そして、ある時偶然にも、好きな作家の初版本に出会うことがあります。まさに、感激の遭遇で、胸の高鳴りと共に、運命さえも感じてしまっています。しかし、このような出会いの楽しみも都会と離れて暮らすようになると出来なくなってしまうかもしれません。今は、その静かな出会いの場所は、公共図書館へと姿を変えています。

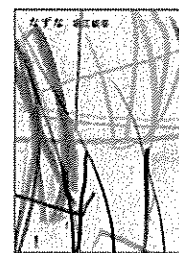
私にとって図書館は、『古本屋ではなく、古書店に似て』なのです。

『なずな』

堀江敏幸／著 集英社（Fホリ）

地方都市の小さな新聞社でコラムを書いている40代の独身男性が、ひょんなことから弟夫婦のまだ首も据わらない赤ん坊を育てることになります。特別な事件が起こるわけでもない毎日ですが、二人は周りのいろんな人と関わりを持ちながら、赤ちゃん“なずな”は少しずつ大きくなっていきます。

あたりまえの日常の大切さ、いとおしさを改めて感じさせてくれる物語です。(と)



『ハッピーバースデー』

青木和雄／著 金の星社（K913ア）

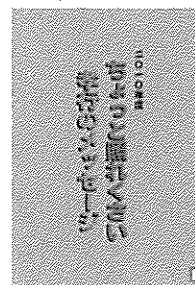
「ママに愛されたい。」そう願うあすかの心とは裏腹に、母静代は「生まなければよかった」という一言を漏らします。母からの精神的なストレスで遂に声をなくしてしまったあすか。しかし、優しい祖父母の愛を受け、自然の営みに触れ、強く生まれ変わったあすか。そんなあすかに感化され、周りの人たちにも変化が…。

多くの人の心の問題をハッと気づかせてくれる1冊です。(し)



『ちょっと照れくさい孝行のメッセージ』 市原村づくり協議会／編（N917）

加美区市原では「孝行の里づくり」として、平成8年度より「ちょっと照れくさい、孝行のメッセージ」の全国公募を実施しています。これは、4歳で養女として市原に来て、15歳から山仕事で足を失った養父にかわり家計を支え、大正4年「孝子節婦」に選ばれた全国で3人のうちの1人、故森安小春さんの不屈の精神と徳を伝えようとするもの。22年度は1,811通の応募があり、その中から優秀作を選び、作品集としてまとめています。心温まるメッセージに思わずホロリとさせられます。(す)

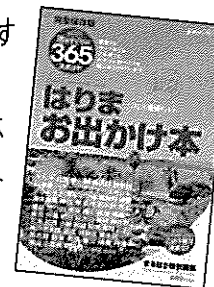


Bookガイド

『まるはり』の定期購読始めました。

近年、長年発行され続けた雑誌が相次いで休刊になっています。そこで今回、休刊になった雑誌の代わりに、以前からリクエストのあった『まるはり』を購入することに決めました。この雑誌はタイトルのとおり“まるごと播磨”を紹介する雑誌で、主に加古川、姫路周辺のグルメetc.が紹介されています。見ているだけでも楽しいですし、近場が紹介されているので、実際に行くのも良しです。

もちろん、これ以外にも様々な雑誌(全86種類)を所蔵しています。意外にも知られていない雑誌の所蔵、ぜひ、一度ご覧ください。



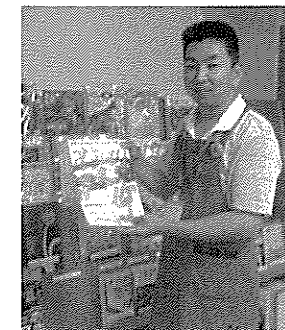
ふくちゃんのウインク

毎年この時期になると、子ども達から「今年もスタンプラリーあるんやろ!」「クイズ、得意やねん」「どの本にするの?」という声を聞きます。もちろん!今年も開催しますよ!!実施期間は夏休み。楽しみにしてくださいね。(よ)

スタッフ紹介

この春から図書館で勤務させていただくことになりました安平です。早いもので勤務について3ヶ月が過ぎようとしていますが、慣れないことが多く、今なお悪戦苦闘する毎日が続いています。昔から本を読むことに抵抗はなかったのですが、本を探して自ら図書館を訪れるような機会や、図書館についての知識はほとんどないに等しい状況でした。こんな自分に図書館での仕事が勤まるのか不安もありますが、他の職員の方に指導を仰ぎながら日々頑張っているところです。今後、利用者の方々に“楽しく快適な図書館”だとさらに感じていただけるよう、私自身も微力ながら努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

安平憲正



こと 葉 ふくちゃんの言の 便り

純真なこころを伝える童謡詩人

～ 金子みすゞ 編 ～

みすゞさんは花を見ると花になれ、
雪を見ると雪になれる人でした。
それは自然と私というまなざしではなく、
自然の一部の私というまなざしがあったからでしょう。

— 矢崎節夫氏 別冊太陽 金子みすゞより —

小学校の国語の教科書に載っている「わたしと小鳥とすずと」の作者、金子みすゞさんは、子供たちには馴染みの童謡詩人です。明治36年生まれの子金子さんは、20歳の時にペンネームのみすゞを使って投稿した『童話』『金の星』『婦人画報』『婦人倶楽部』の4誌すべてに作品が掲載されると、一躍注目の童謡詩人となりました。

また、初投稿から3年目の年には、日本童謡詩人会に与謝野晶子氏に次ぐ2人目の女性会員として入会を認められています。しかし、26歳の若さで世を去られた事もあり、昭和57年に児童文学者の矢崎節夫氏によって紹介されるまでは、人々の記憶からは忘れ去られた「幻の童謡詩人」となっていたのです。

矢崎氏は、金子さんの弟・上山雅輔氏から渡された3冊の童謡集『美しい町』『空のかあさま』『さみしい王女』に収められた512編の詩を半世紀ぶりに甦らせました。

大正から昭和の初期に詠われた若き女性の心情詩は今もなお、私たちのところに響いてきます。

金子みすゞさんに関するクイズです。《こたえは最後のページに》

- I. 金子みすゞさんを“若き童謡詩人の巨星”と称した詩人は
①西條八十 ②野口雨情 ③北原白秋 ④三木露風
- II. 矢崎節夫氏が、みすゞ探しを始めるきっかけになった詩は
①こだまでしょうか ②打出の小槌 ③大漁 ④お魚
- III. 1995年に「金子みすゞ」と命名された新発見なものは
①金魚 ②小惑星 ③ホタル ④無人島
- IV. 明治39年に祖母と母親が営むことになったお店は
①豆腐屋 ②呉服屋 ③乾物屋 ④本屋
- V. 雑誌『童話』に投稿したみすゞは、選者から「英国の〇〇女史と同じだ」とほめ励まされます。この〇〇女史とは誰
①ワーズワース ②クリスティナ・ロゼッティ
③デ・ラ・メア ④エリナー・ファージョン

読み聞かせ 入門講座 (全4回)

大澤百世先生を講師にお迎えして実施している、読み聞かせ入門講座も今年で3回目となりました。

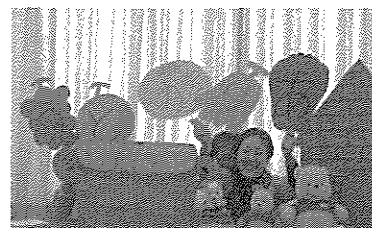
今回は、受講生のほとんどが実践経験者ということもあり、

入門講座とはいいながら、入門よりも一歩踏み込んだ内容で講義は進められています。



八千代フラザオープン記念おはなし会 5月15日(日)

おはなし会
の様子 →
↓



おはなし会終了後のお楽しみ

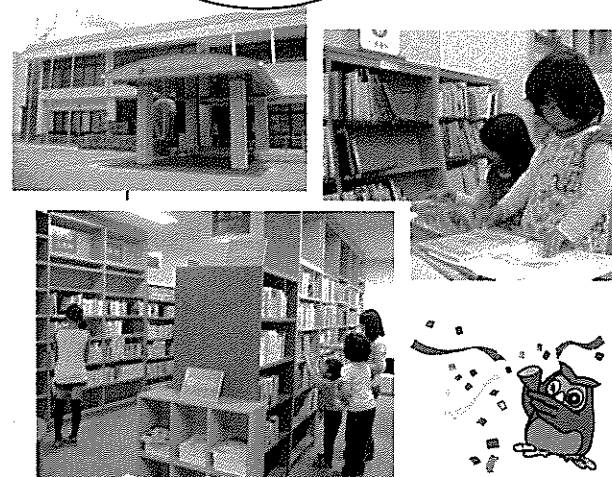
読み聞かせサークル「おはなしかあさん」によるおはなし会がありました。

まずは『はりねずみかあさん』を始め、絵本3冊と大型絵本の読み聞かせ。

次に「三匹のこぶた」ならぬオリジナル「三匹のプーさん」の人形劇。劇のセットも手作り、お母さんたちの目は驚き、子ども達の目はキラキラ。

最後には切り紙カードのプレゼントもありました。自分で穴をあけ、リボンを通す子ども達の目は一層輝きました。

5月6日
八千代図書室
リニューアル
オープン



毎年おきまりのタイトルロゴ。お互いの字のバランスを見ながら、一生懸命書いてくれました



やはり毎年、一番楽しかった仕事はカウンター業務のようです。しかし、意外にも、今年は、書庫へ本を返しにいくという回答も。普段、書庫へ入る機会はありませんから、新鮮だったのかもしれません。

五日間、初めての仕事で疲れたと思いますが、毎日元気に仕事をしてくれました。この体験が、今後の学校生活・社会生活を送るうえで、心に残る、よい経験となってくれればと職員一同願っています。

Q5 仕事をやる上で気をつけていたことは？

- ・元気に、ニコニコ仕事すること
- ・プライバシーを守ること
- ・本を戻す場所を間違えないこと
- ・利用者の迷惑にならないこと

Q4 しんどかった仕事は？

- ・本の装備作業

Q3 一番楽しかった仕事は？

- ・カウンター業務
- ・本の整理
- ・事務所の奥にある書庫へ本を返しに行くこと

Q2 実際に仕事をしてみてどうでしたか？

- ・本の貸出以外にもたくさんのお仕事があり、難しい仕事だと思った。
- ・正直、もっと楽な仕事だと思っていた。
- ・仕事中にもっと本が読めると思っていた。

Q1 トライやるで体験するまでは、どんな仕事をするところだと思っていましたか？

- ・単に本を貸したり、返ってきた本をしまう仕事

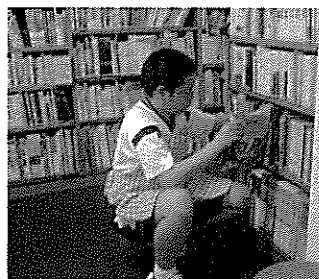
トライやるを終えた感想を聞きました。

他の事業所より二日遅れで始まったトライやる。緊張しながらも様々な仕事を体験しました。

そこで、

トライやる

6月1日(水)～5日(日)



図書館だより

発行 多可町図書館

〒679-1133

多可郡多可町中区糀屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.taka.hyogo.jp/>



本の駅

八千代プラザ

図書担当 赤松 康正

図書の担当になる前は、自分は本が好きだと思っていた。情報・知識を得るために本をよく読んでいたからである。しかし、図書に関わるようになり、図書室(館)に通う人たちの格の違いを知った。図書と関わることになり、初めて手にした本が、万城目学／著『鹿男あおによし』だった。きっかけは、漫画のようなイラストの表紙に、目を奪われたからである。読みやすく思えるだけでなく、聞きはじめの著者のものでも、手に取るのに数居を低くしているように思えた。

遅まきながら本の魅力を知ると、新刊で読みたい本が次から次へと出てくるのが、嬉しい悩みの種になった。にもかかわらず、読むペースが遅いので、思い通りには読めていない。おまけに気に入った著者が見つかったと、以前出された本にまで手を出してしまい、読みたい本が貯まってしかたがない。

職場である八千代プラザが綺麗に整備され、図書室も明るく広くなった。蔵書も増え、これまで以上に多くの人が利用されるようになった。夜10時まで開いているので、多可町図書館の開館時間に合わない人も、取り寄せなどで利用されている。

新しい本はきらきら輝いて図書室にやってくる。人気作家や話題の本は、どんどん貸し出される。専門的な本や季節ものは、その時を待つ。絵本や児童書を選ぶ子ども達の目は喜びにあふれている。ぱんぱんに膨らんだフクロウバッグを抱えて、帰りをせける子どもの楽しそうな表情を見送るのも嬉しい。満足した表情とともに、読み終わった本が帰ってくる。図書室(館)はそんな「本の駅」のような気がする。多くの人の元へ旅に出て、次の人のために帰ってくる、本もそんな旅を楽しんでいるのではないだろうか。

『偉大なる、しゅららぼん』

万城目学／著 集英社(Fマキ)

「しゅららぼん」って一体何!?

代々、琵琶湖から特別な力を授かってきた日出家と薬家。その力により、日出家は江戸時代より莫大な財力と権力を誇っていた。高校入学をきっかけに、石走にある日出本家に修行のためにやってきた涼介、本家の跡継ぎの淡十郎、そして薬本家の長男、広海。偶然、3人が同じクラスになり、両家の存続をかけた戦いに…。

ユニークな登場人物と、先の見えないストーリー展開が楽しめる一冊です!(し)



『オトタケ先生の3つの授業』

乙武洋匡／著 講談社(K913 才)

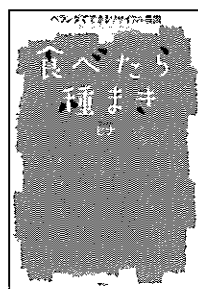
生まれつき両腕と両脚がなく、移動には電動車椅子を使用しているという乙武洋匡さんは、2010年3月までの3年間、東京都内の小学校で、先生として教壇に立っていました。

この本は乙武さんが実際に行った、「星に願いを」、「心のバリアフリー」、「犬のキモチ」の3つの授業のおはなしです。大人が読んでも考えさせられる内容です。(す)



『食べたら種まき』 ヒナ／著 祥伝社(626 ヒ)

食べた野菜や果物の種をまいて育て再収穫する。著者がこの楽しさに気付いたきっかけは、ベランダの植木鉢に投げ入れた野菜クズ。そこから勝手に生えてきたのがピーマン、かぼちゃ、じゃがいも…。ここから著者の「食べまき」が始まります。イチゴやメロンの栽培にも成功という驚くべき記録に、桃の芽が出てこない理由なども紹介されています。種類ごとのまき方・育て方と共に、種の保存の仕方、唐辛子や酢で防虫する方法、土や肥料の作り方もあって、思わず植木鉢に種をまいてみたくなる本です。(と)



Bookガイド

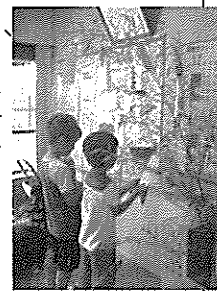


ふくちゃんのウインク

暑かった夏がようやく過ぎ去りました。今年は節電ということもあり、みなさんもさまざまな工夫をして乗り切られたのではないのでしょうか。風鈴一つ飾ってもその音色に涼を感じることは出来ます。図書館ではその季節季節を感じてもらおうと時節に応じた飾りつけを心がけています。

毎年7月には、玄関付近に七夕飾りをしています。今年もたくさんのお願い事が飾られました。中には「〇〇シリーズの本を買って欲しい」というリクエスト短冊も。

七夕飾りをするにつけ、実は悩み事が。飾っている間に、笹がしおれてしまうのです。(一応、水につけてはいるのですが…)暑さと、乾燥とで手立てがありません。笹を長持ちさせるよい方法はないかと頭を悩ませています。いい方法をご存じでしたら、教えてください。来年はその方法でチャレンジしてみたいと思います。(よ)



“東日本の子ども達に

絵本と布絵本を届けたい”



絵本寄贈のお願い

このたび、図書館ボランティアグループ【サポ一団・ねっと】の布絵本サークルの皆さんが、被災地に届けるために、手作りで温もりのある布絵本を作製されました。そこで、現在この布絵本と一緒に絵本も届けたいと活動されています。絵本の持つ優しさや楽しさで子ども達の心を少しでも癒してもらえればと思います。被災地に送ってもいいという絵本がご自宅にございましたら、ご協力くださいますようお願いいたします。

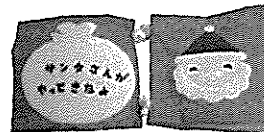
受付場所: 多可町図書館

受付期間:

10月16日(日)まで

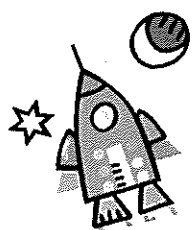
※ただし、休館日は除く

受付時間: 10~18時



↑布絵本サークルが作製された絵本

こと 葉
ふくちゃんの言の 便り
ときばなし
空想工房が創る 未来のお伽 噺
～ 星 新 一 編 ～



フィクションの楽しさが成立するには
関係者が無知であってはならず、
健全な常識の持ち主でなければならない。

—エッセイ「嘘とフィクション」より—

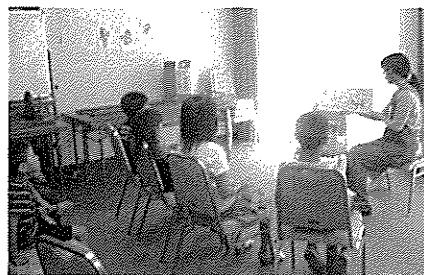
日本のショートショートのパイオニアである星新一さんは、大正15年に吉祥寺に近い東京本郷駒込で星製菓の長男として生まれました。「明治のなごりの残る、古きよき時代のムードにふれたことは、私の大切な思い出である」と著書の中で語っているように、幼少の頃に過ごした時代が豊かな想像力を育んだのかもしれない。星製菓の社長をも務めた星さんが作家の道に進むきっかけとなったのは、昭和32年に空想科学小説同人誌『宇宙塵』の創刊2号に寄稿した「セキストラ」が、江戸川乱歩氏の紹介文と共に推理小説雑誌の『宝石』に載ったことから始まります。翌年には、代表作である※1「ボッコちゃん」を書き上げSF（サイエンスフィクション）短編形式の作家として歩みはじめます。星さん自身が、ショートショートへの入門書としてお勧めしているのが、新潮社が発刊している『ボッコちゃん』です。この『ボッコちゃん』には、50編のショートショートが274ページの中に収められています。最短の話は「狙われた星」の3ページで、最長の話は「鏡」の10ページです。平均すると5.5ページの物語が一冊の本に集録されているのです。ページ数が少ないといって、1編の物語を早足で読んでしまうことはありません。今年の秋の夜長には星さんの作品を、ゆったりとした雰囲気の中で「ナンセンスがかったユーモアとちょっと詩的まがいと風刺的なところ」（星さん談）を知的に楽しんでみてはいかがでしょうか。

（※1）バーのカウンターで、美人なロボットとお客とのコミカルな会話が進むが、最後にはシリアスな結末が待っているお話です。

星新一さんに関するクイズです。《こたえは最後のページに》

- I. 星製菓副社長の時に入会した、当時話題の会とは
①日本ロボット愛好会 ②日本空飛ぶ円盤研究会
③日本空想科学同好会 ④日本火星探査勉強会
- II. 1001編達成で配った「センスター」と書かれた記念品は
①トランプ ②ポラリス ③タバコ ④ダルマ
- III. 1970年、大阪万博の年にギリシャ旅行を伴にしたSF作家とは
①小松左京 ②新井素子 ③半村良 ④筒井康隆
- IV. お互いが所有する伊豆の別荘で親交があった芸能人とは
①ビートたけし ②明石家さんま ③タモリ ④笑福亭鶴瓶
- V. こよなく愛していたクマで、一緒に天国へ連れて行ったのは
①くまのプーさん ②テディ・ベア ③たれパンダ ④リラックマ

おはなし会とクイズの
コラボは夏休みという開
放的な時間に便乗したも
のですが、図書館のおはな
し会から疎遠になりつつ
ある小学生がおはなし会
の楽しさを思い出してく
れるきっかけになればと
思っています。

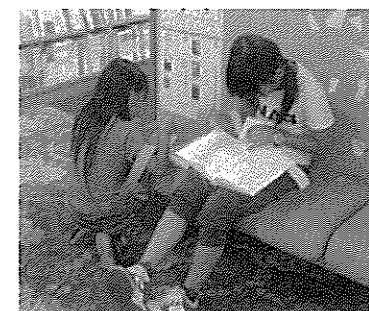


小学生対象夏休み特別おはなし会
（8/3、10、17、24）

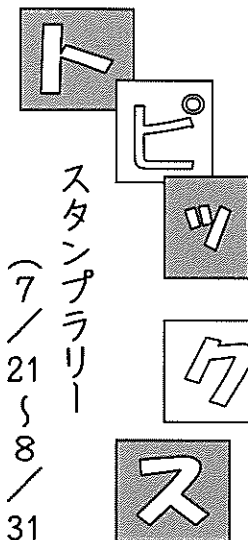
今年の特別おはなし会は、スタンプリリーと
コラボした形で開催しました。

おはなしを楽しんでもらうことはもちろん、
当日に語られたおはなしの中からクイズを出
題。それに答えると、どの番号の上に貼っても
よい「特別シール」をお渡ししました。

楽しみにしてくれ
ている声をきくと職
員一同とても元氣
が出ます。
また、楽しい企画が
できればと思っています。



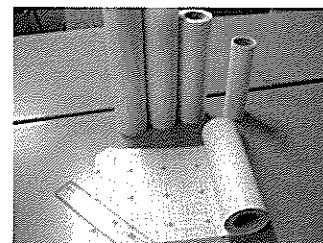
本を読んでクイズに答えるスタンプリリー。今年
も200人を越える子ども達が参加しました。オーブン
当初から始め今年で8回目。低学年の頃より毎年参
加してくれた常連組の中には中学生になった子もい
て、参加出来ないのを残念がっていました。小学生
対象なので、「中学生用の分も作って欲しい」という
声を聞きました。なかには大人向けはないの？とい
う声も。



スタンプリリー
（7/21～8/31）

装備の講習（8/25）

学校図書室の本を装備した
いので、そのための事前研修
をと、中町南小学校の先生か
ら依頼を受け、本を保護する
ためのフィルムコートを巻く「装備」の講習を
しました。



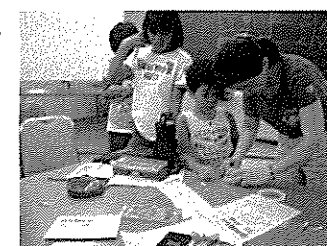
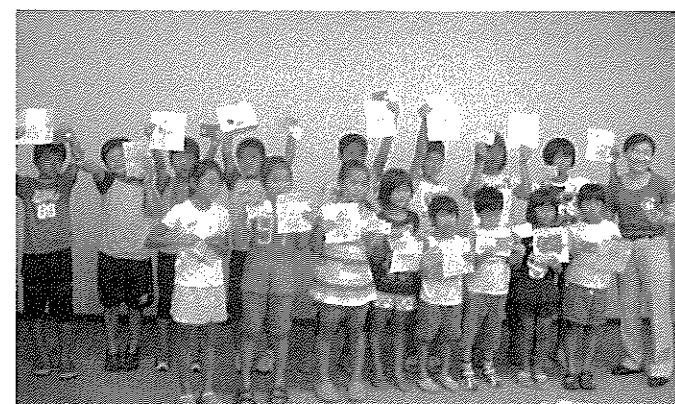
図書館ではおはなし会だけでなく、こういっ
た装備の作業など学校図書室や児童館の充実
に向けて連携できることがあれば、協力したい
と思っています。

また、個人的に装備を体験したいという方
は、毎年3月に行っている図書館まつりでも講
習会をおこなっていますので、ぜひ、ご参加く
ださい。

ぐるぐるしりとり絵本
（7/28、29）
毎年恒例の手作り絵本教室。今年も、
手作り絵本作家の村上祐喜子先生をお招
きして開催しました。
小学校1年生～5年生の16名の子ども達が参加し、2日
間かけて「ぐるぐるしりとり絵本」を作製しました。
「すいか↓かもめ↓めだか↓からす↓（すいか）」とい
うように、4面のページをひ
らくとぐるぐるしりとりにな
っている絵本です。1日目
は、しりとりことばを考えて
絵本の土台を作り、2日目
は、絵を描いたり、色を塗つ
たりして完成させました。
おまけに、引つ張ると色が
変わる不思議な絵も作り、子
どもたちは大喜び。
夏休みのステキな思い出
ができたようでした。

図書館の仕事体験

昨年度から受入を始めた、
トライやる以外の生徒の図書
館体験。今年は多可高校の生
徒2名が8/3～5の3日
間、特別支援学校の生徒1名
が8/18、19の2日間、図書
館の仕事を体験しました。
いずれも2～3日と短い期間
ではありますが、頑張って仕
事をしてくれました。



図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区糀屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
<http://www.library.taka.hyogo.jp/>



子どもたちに読書の楽しみを

多可町教育長 岸原 章

新年あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、教育委員会では、子どもたちが読書に親しみ、こころ豊かにたくましく生きていく力を養うために、「多可町子ども読書活動推進計画」を策定しました。子どもにとって読書は、言葉を理解する力や文章の読解力をつけるだけでなく、豊かな感性や創造力を育み、表現力を高めるうえで欠くことが出来ないものです。しかし、現在ではインターネットや携帯電話などの急速な普及により、大人だけでなく、子どもたちの生活環境も大きく変化しています。子どもたちの生活時間の変化や物事に対する興味関心の多様化が、読書習慣を妨げる一因となり、「読書離れ」や「活字離れ」を引き起こしています。

こうした状況の下で、子どもたちが読書習慣を身につけていくためには、親や家族など子どもたちにとって身近な大人が読書に親しむ姿勢を持つことが大切です。つまり子どもに対して読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読み、互いに感じたことや考えたことを話し合うなど、家庭の中に読書を楽しむ雰囲気をつくる必要があります。子どもにだけ「本を読みなさい」と読書を強制するのは効果が少ないと考えます。

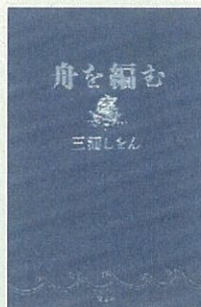
家庭で、保育所・幼稚園で、小中学校で、児童館で、そして図書館で、子どもたちが「本を読んでもいい」と思うような仕掛けをどう作っていくかが求められています。家庭・学校・関係機関が互いに連携して、子どもたちに読書の楽しみを体得させていきたいと考えています。多くの良い本が私たちに待っています。まずは、私たち大人が本を手にしな

『舟を編む』

三浦しをん／著 光文社 (F ミウ)

物語の舞台は大手総合出版社、玄武書房の辞書編集部。言葉という大海原を航海するための舟となることを願って名づけられた辞書『大渡海』の完成を目指す個性豊かな編集スタッフたち。

目先の利益を追求する会社の方針により人員が補充されない状況で、各界の執筆陣からの原稿集め、原稿の校正など課題にぶつかりながら十数年をかけて奮闘、ようやく完成した『大渡海』の姿は……。 (す)



『ジェニーとキャットクラブ』

黒ネコジェニーのおはなし1』

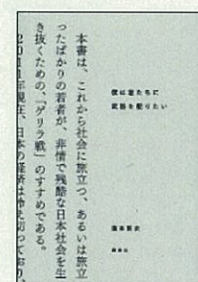
エスター・アベリル／作 福音館書店 (K933ア)

小さな黒ネコジェニーは、キャプテン・ティンカーと暮らしています。キャットクラブに参加したいのに、はにかみやで見ていられるだけですが精一杯、おまけにクラブに入るには特技が必要です。そんなある日、キャプテンがスケート靴をプレゼントしてくれます。思い切って氷の上に立つと、ジェニーはすいすい滑っていました。ひっこみじあんだけれど、ここ一番であっぴれな愛すべき黒ネコのおはなしです。ご家族でお楽しみください。 (と)

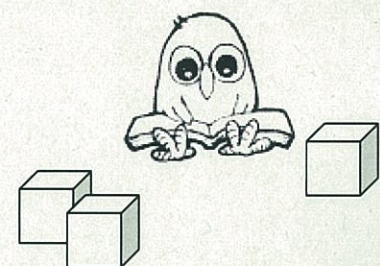


『僕は君たちに武器を配りたい』 瀧本哲史／著 講談社 (159タ)

2011年、日本の経済は冷えきっており、回復の兆しさえ見えない状況である。求人の状況も厳しい状況が続いており、若者が未来に希望を見いだすににくい世の中になってしまっている。医師でさえもワーキングプアになりつつある時代なのである。そんな世の中を嘆いていても仕方がない。どうやって、この世の中をしたたかに生き残り、「希望」を見だしていくのか。京大人気No.1の若手教授が、本書にその考え方を記している。これから就職する人も、既に働いている人にもお勧めの1冊です。 (し)



Bookガイド



ふくちゃんのウインク

明けましておめでとうございます。

12月21日～1月29日まで、中町北小学校の1年生28名が紹介してくれた本を手書きのコメントと共に図書館児童コーナーで展示しています。ぜひ、ご覧ください。

今年も地域や学校と連携しながら情報発信していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。 (よ)



こたえ

I...③ II...③ III...④ IV...① V...②

【豆知識】

IVの問題ですが、それぞれの誕生年は「ミッキーマウス」1928年、「のらくろ」1931年、「ムーミン」1934年、「スヌーピー」1950年だそうです。

「多可町図書館基本計画」を策定中

図書館基本計画は、多可町総合計画や多可町教育ビジョンの理念に基づき、地域の皆さんにとって利用しやすい生涯学習の拠点施設として(図書館の)あるべき姿を描く計画です。



図書館長から諮問を受けた図書館協議会では、6名の策定委員を選考し、昨年9月から策定作業を始められ、図書館と加美・八千代図書室に望まれるサービスや図書館に必要なコーナーなどについて盛んに意見交換が行われています。11月には、すばらしい基本計画に基づく新図書館を計画中の瀬戸内市と新図書館が開館して4年目の赤磐市(共に岡山県)の視察にも行かれました。この理念や施設も参考に、今年度中には答申を取りまとめられる予定です。



思いをのせて南三陸町へ

多可町図書館ボランティアグループ「サポート・ねっと」の皆さんの呼び掛けで、被災地に届ける絵本の寄贈をお願いしましたところ、おかげさまで千五百冊を超えるたくさんの方の絵本をお寄せいただきました。ほんとうにありがとうございました。

まず、10月5日の仮設オープンに合せて、布絵本5点を送付。11月18日にはお寄せいただいた本と絵本に出ているキャラクターのぬいぐるみ7点を、南三陸町仮設図書館へ発送しました。

また10月22日にはミニフォーラムを開催。南三陸町の小学校へ県から派遣され、児童の心のカウンセリングにあたられてきた中村経子さんをお招きし、「南三陸町の子どもたち」と題してご講演いただきました。この他にもプロジェクトに寄せての報告、東北にちなんだ絵本の読み聞かせも行われました。



今後とも継続的な被災地支援が必要であると、参加者一同思いを新たにしました。



おもしろ絵本大集合！

10月、那珂ふれあい館にて約一か月間、「おもしろ絵本大集合」と題して特別展示をしました。多くの方に布絵本や巨大からくり絵本など実際に手にとって、見たり遊んだりしていただきました。

他にも、期間中お気に入りの絵本のカバーをご自由にお持ち帰りいただき、ご自宅でもパズルや手提げバッグを作って楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

今回の展示は図書館の魅力のほんの一部です。これから機会を見つけて情報発信をしていきたいと思っています。



「ほんをかりたよ」

10月21日、11月25日と今年も中町幼稚園の子どもたちが図書館に来てくれました。『風の神と子ども』のおはなしや絵本を楽しんだ後は、各自好きな本のところへ。「走らない」「さわがない」「本を大切に」の3つのお約束を守って、とても楽しそうに本を選んでいました。

また、来てくださいね。



講座がスタート

大澤百世先生をお迎えして、3回目のストーリーテリング講座が11月16日からスタートしました(全5回)。毎回実践形式で、おはなしを覚え、語るのには一苦労ですが、自分以外の方のおはなしを聞くのは本当に楽しいものです。読んでいる時には何も思わなかったおはなしも、人に語ってもらうことによってそのおはなしの面白さを再発見することがあり、次回は自分もおはなしを覚えたいです。



クリスマスおはなし会

12月17日に八千代プラザで、18日には加美プラザでそれぞれクリスマスおはなし会を開催しました。絵本グループ「ぽっけ」の方に絵本を読んでもいただき、おはなし会終了後には、簡単な飾りも作りました。

さらに24日、おはなしサークル「あいあい」によるクリスマスおはなし会を図書館でも開催。とても楽しいひとときとなりました。



こと 葉 ぶくちゃんの言の 便り

欧風エスプリのアドベンチャーコミック

～ タンタンの冒険 編 ～

タンタンは私自身なのだよ
これはまったく個人的な仕事で
画家や小説家の仕事と同じなのだ
もし他の人が描き継いだら
もはやタンタンではなくなって
しまうということなんだ

—タンタンの冒険 その夢と現実—より

1929年にベルギーのブリュッセルにある「ル・パンティエーム・シエクル新聞社」で新米の記者として働いていたジョルジュ・レミさんは、週に一度出す子供版の面白い企画を部長から依頼されます。ペンネーム「エルジェ」でベルギーボーイスカウト誌などに作品を発表していたジョルジュさんは連載物の冒険漫画を出そうと思いつきます。そこから始まったのが、南北アメリカ・アフリカ・インド・オーストラリア・北極と世界中を駆け回り 1953年には月にまでも行ってしまう少年記者タンタンと相棒の愛犬スノーウィが繰り広げるシリーズ23作からなる『タンタンの冒険旅行』です。

昨年12月から公開が始まった3D映画「ユニコーン号の秘密」は、1941年に出版された『金のはさみのカニ』と1943年に出版された第11作目『なぞのユニコーン』、さらに翌年に出版された『レッド・ラッカムの宝』の三作品からなる冒険物語が原作となっています。

50カ国語以上に翻訳されて世界中の人々に愛読されている「タンタンの冒険」。今年は新しいファンが、タンタンに出会うため図書館へ来てくれそうです。

タンタンに関するクイズです。《こたえは最後のページに》

- I. 相棒でもある愛犬スノーウィの犬種は
①ラブラドル ②ビーグル ③フォックステリア ④シーズー
- II. 初期の作品に、タンタンの顔に描かれていないのは
①まえがみ ②みみ ③まゆげ ④はな
- III. よく登場する刑事デュポンとデュボンを見分けるコツは
①ステッキ ②ぼうし ③ネクタイ ④口ひげ
- IV. タンタンよりも1年前に生まれたキャラクターは
①ミッキーマウス ②のらくろ ③ムーミン ④スヌーピー
- V. 17年前からタンタンをイメージキャラクターにしている会社は
①近畿日本ツーリスト ②千葉銀行
③日清食品 ④富士サファリパーク